

# 和の光



宝塚市立西谷中学校

## 1年のしめくりに

校長 筒井 啓介

日ごとに春風が心地よく感じられるようになり、待ち構えていたかのように校庭の桜の蕾も少しずつ膨らみはじめました。早いもので、令和5年度も残すところ僅かになりました。私は4月に西谷中に赴任し、皆さんと過ごした中で感じたことを学年ごとに記させていただきます。

### 【1年生】

4月に中学校へ入学し、最初は小学校生活との違いから戸惑うことも多かったことかと思えます。しかし、2・3年生を手本にしながら勉強や行事・部活動に取り組んできました。先日は、学年の行事でスキー転地学習に行きました。15人の級友と先生方とで力を合わせて最後まで全員が実習をやり遂げました。この1年間の皆さんの成長を実感する機会になりました。4月には1年生が入学し、皆さんは中堅学年になります。3年生と協力しながら行事や部活動で後輩をリードしてくれることと期待しています。また、学習内容も次第に難しくなってきますので、基礎学力を定着させるために、家庭学習の習慣化に努めていきましょう。

### 【2年生】

西谷中の中堅学年として、3年生と協力しながら行事や部活で後輩をリードしてくれました。本当に感謝しています。また、9月のトライやるウィークでは、働くことの意義や喜びなどを実感したことと思います。いよいよ4月には3年生になります。将来の夢や目標の実現に向けて大切な年です。生活面と学習面について、今の課題を明確にし、どのように克服していくのかしっかりと手立てを考えていきましょう。4月から3年生として良いスタートが切れるように応援しています。

### 【3年生】

あとわずかで義務教育が終了します。皆さんは中学校を卒業すると各自の進路へ進むことになります。今までは親や先生方に守られながら生活をしてきましたが、これからは皆さん一人一人が主体的に考えて行動することが求められるようになります。時には辛いことや厳しいこともあるかと思いますが、たとえ進路が違って、西谷中で共に過ごした9名の仲間が頑張っていることを思い浮かべてください。また、みなさんのことを、西谷中の後輩、先生方がいつも応援していることを忘れないでください。

最後になりますが、この1年間、本校の教育推進についてご理解をいただくと共に、様々な場面でお力添えをいただきました保護者の皆さま、地域の皆さまには心より御礼を申し上げます。これからも、西谷の子どもたちのために教職員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ■卒業証書授与式が開催されます

3月14日（木）に第77回卒業証書授与式を行います。公私ご多忙なこととは存じますが、3年生の保護者の皆様には一人でも多くご出席を賜り、在校生・教職員とともに3年生の巣立ちを祝福いただきますようお願いいたします。

## ■公立高等学校の学力検査に向けて

3月12日（火）に公立高等学校の学力検査が行われます。（総合学科については、13日（水）に実技検査があります）希望する進路の実現に向けて、残された日々を有効に活用し、当日は最大限に力が発揮できるように最後まで頑張ってください。また、この時期に風邪をひくなど体調を崩すことがないように体調管理にも気を配ってください。

## ■感謝の言葉を大切にしよう

私たちは様々な場面で多くの人に支えられて生きています。日常生活や学校生活の中で、「助けてもらった」「ありがたいな」と感じたことがあると思います。「毎日食事ができること」「学校に通って勉強や部活動ができること」など、みなさんが当たり前と思っていることを当たり前と思わずに感謝する心が大切です。そして、大事なはその**感謝の気持ちを言葉にして相手に伝えることができるか**ということです。

自分が誰かに助けられてありがたいなと思った時、そのことを言葉で「ありがとう」ということは相手にとっても大切なことです。少し難しい言葉ですが、「自己有用感」という言葉があります。自己有用感とは、「自分は人の役に立っている」「〇〇をすると喜んでもらえる」など、他者から評価されることによって得られる感情のことをいいます。人の役に立ち、人に感謝されることが自信につながります。自己有用感が高まると、「人の役に立ちたい」「人に喜ばれたい」という気持ちが高まります。自分が行動することで他人に感謝されることに喜びを感じて、思いやりの心が育ち、相手の気持ちを尊重できるようになります。さらに、人とのコミュニケーション能力が高まり、集団生活もうまくやっていけるようになります。つまり、**感謝の言葉が、人との関係において良い連鎖を生み出していくのです。**

感謝の気持ちを表す言葉は「ありがとう」「助かりました」「お世話になりました」「ごちそうさま」などたくさんあります。普段は照れくさくてなかなか言えないという人も多いかも知れませんが、勇気を持って伝えてみましょう。まずは、自分の**家族や身近な友人に「ありがとう」が素直な気持ちで言えるようになる**といいですね。自然に「ありがとう」が言えるようになると、相手の自分に対する態度、自分が相手に向き合う姿勢も変わってきます。

ここで、一つ気を付けることは、何かをするときに見返りを求めないことが大切です。「〇〇してあげたのに」「君のことを心配して言っているのに」…「のに」の気持ちは、自分の心を狭くしてしまいます。例えば、「鉛筆を拾ってあげたのに何もお礼を言ってくれない」「もう次からは絶対に拾ってあげない」「今度、あの子が何かしてくれても、私はありがとうなんて言わない」ではなく、自分からの感謝の言葉は続けてください。やがて、相手にあなたの気持ちは伝わっていくはずですよ。

**「人にかけての情けは水に流せ。人から受けた恩は石に刻め」という格言があります。見返りを求めず、感謝の心はしっかりと相手に言葉で伝える。**「ありがとう」の一言が、あなたの心と相手の心も豊かにしていきます。西谷中学校が「ありがとう」のことがあふれる学校であって欲しいなと思います。

## ■仲間とともに学ぶことの楽しさ

2年生の美術の授業を紹介します。美術室に入ると、みんな黙々と作業を進めています。各自がデザインした幾何学模様を板に写し、カラーワイヤーを釘で固定して綺麗なワイヤーアートを作っていました。とても細かな作業ですが、作業が進むにつれて、だんだんと慣れてきたようで、手際よく作業が進んでいました。自分の手を使って作業をすることがとても楽しいようで、一人ひとりの生徒が生き生きとして見えました。作品の完成が楽しみです。(2月8日(金曜日))



美術の授業(2年生)

## ■QU 調査を実施しました

2月22日(木)に1・2年生を対象にQU 調査(子どもたちの学校生活における満足度と意欲や学級集団の状態を調べることができる質問紙調査)を実施しました。

「最近●●さん、ちょっと元気がないかな」「●●さん、よく頑張っているな」などと、教師は子どもたちの成長を日々見守っていますが、観察だけではどうしても気づけない部分があります。また、大人からすると意外な感情を子どもが抱いていることもあります。そのような教師の観察と子どもの実態のズレを補うのがQ-Uです。

下記にその大きな目的を紹介させていただきます。

- ◎1人1人のデータから、不登校になる可能性の高い子ども、いじめを受けている可能性の高い子ども、学校生活の意欲が低下している子どもなどを発見し、早期対応につなげます。
- ◎学級全体のデータから「なれあい型」「管理型」など集団の傾向をタイプ別に把握します。

この結果をもとに、私たち教師はこれまでの指導の在り方を客観的に見直し、今後の学級経営や授業の工夫・改善に努めていきます。



QU 調査の様子

日	曜	行 事	最終下校時刻 17:30
1	金	専門委員会	
2	土		
3	日		
4	月		ノ一部活デー
5	火	生徒朝礼	ノ一部活デー
6	水	あいさつ運動 スクールカウンセラー来校	
7	木		
8	金	3年生を送る会	
9	土		
10	日		
11	月	3年給食最終日	ノ一部活デー
12	火	公立高校学力検査(～一部13日)	3年家庭学習日
13	水	卒業式準備	↓ スクールカウンセラー来校
14	木	第77回卒業証書授与式 給食なし 新入生物品販売	
15	金	学年末2者懇談(～18日・19日予備日)	
16	土		
17	日		
18	月		ノ一部活デー
19	火	給食最終日 公立高校学力検査合格発表	
20	水	春分の日	
21	木		
22	金	大掃除	
23	土		
24	日		
25	月	修業式	
26	火	春季休業日(～4/7)	
27	水		
28	木		
29	金		
30	土		
31	日		

↓

<2024年度4月予定>  
 着任式・始業式(8日) 入学式(10日) 給食開始(11日) あいさつ運動(12日)  
 離任式・弁当日(16日) 3年全国学力学習状況調査(18日)  
 授業参観・学級懇談会・PTCA総会(26日)